

『きのこアート研究所』展

1期：2010年11月3日(水・祝)～2010年11月19日(木)
2期：2010年11月20日(金)～2011年2月24日(木)

「きのこ」と「アーティスト」にまつわる不思議な関係

「きのこ」は、食材やキャラクターとして日常的に接する馴染み深い存在です。その一方で、知られざる側面の多い特異な生態、マジックマッシュルームの引きおこす幻覚作用に加え、ファンタジーや生死にまつわる多くの連想を引き出す題材であり、様々な分野の芸術家にもインスピレーションを与えてきました。

また、振りまかれた孢子が形成する菌糸のネットワークや、そこかしこから発生してくるメカニズムが、際限なく広がる目に見えない連なりや、その神秘的な存在への共感や憧れを喚起し、自身の存在と重ね合わせるような、熱心な愛好家を惹きつけています。

本展覧会は、架空の研究所における調査結果に見立て、きのこを愛する制作者たちの執着の様に迫り、その豊かな成果の広がりに触れる試みです。

写真評論家であり、近年はきのこ文化研究者としても広く知られる飯沢耕太郎氏を「きのこアート研究所」の所長に迎え、きのこをモチーフとした絵画や立体造形のほか、イラスト、切手、絵本からファッション、雑貨など、多分野にわたる表現を紹介します。

会期中にはきのこにまつわる関連イベントを開催します。



飯沢耕太郎

(いゝざわ・こうたろう)

1954年宮城県生まれ。

日本を代表する写真評論家であり、きのこ愛好家としても知られる。

写真関連書籍の他、『歩くキノコ』(水声社・2001)、『世界のキノコ切手』(プチグラブプリッシング・2007)、『きのこ文学大全』(平凡社・2008)、『マジカル・ミステリアス・マッシュルーム・ツアー』(東京キララ社・2010)など。

- 【会期】 2010年11月3日(水・祝)～2011年2月24日(木)
※第1期／2010年11月3日(水・祝)～11月19日(金)
第2期／2010年11月20日(土)～2011年2月24日(木)
- 【会場】 広島市現代美術館
※第1期は1階回廊、第2期は地下1階B展示室
- 【開館時間】 午前10時～午後5時
※11月3日は午後7時まで開館
※入場は閉館の30分前まで
- 【休館日】 月曜日(1月3日、10日を除く)、1月4日・11日(火)、
2010年12月27日(月)～2011年1月1日(土・祝)
- 【観覧料】 無料

広島市現代美術館(学芸担当：松岡 広報担当：後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(問い合わせ用・学芸直通)

FAX/082-264-1198、E-MAIL/hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

参加作家・展示内容

- 第1期／ジョン・ケージ、ロイス・ロング、
アレグザンダー・H・スミス著『マッシュルーム・ブック』
飯沢耕太郎によるキノコ本・グッズコレクション
- 第2期／大竹茂夫、草間彌生、金子司、カールステン・ヘラーによる美術
作品
とよ田キノ子による作品およびキノコグッズコレクション
※第1期の展示内容も引き続きご覧いただけます。

関連イベント

飯沢耕太郎による「キノコ狩るチャー講座」

「きのこアート研究所」所長の飯沢耕太郎氏による講演会です。
写真評論家であり、近年はきのこ文化研究者としても広く知られる飯沢氏が、きの
こ映画、きのこ漫画など、きのこアートについて語ります。
2010年11月21日(日) 14:00~15:30
※聴講無料、事前申込み不要



草間彌生《毒きのこ》1990年 ©Yayoi Kusama



黒田潔《TO THE FOREST》(展示風景)
@btf. 東京. 2010年 ©Kiyoshi Kuroda

比治山キノコ観察入門

比治山にはどんなキノコが存在するのでしょうか？
きのこアドバイザーとして活躍する川上嘉章氏と一緒に比治山のキノコを
観察します。
■講師：川上嘉章（きのこアドバイザー）
2010年11月28日(日) 10:30~12:00
※参加無料、事前申込み不要



大竹茂夫《クサナギヒメタンポタケの人々》
1999年 ©Shigeo Otake

【同時開催】

- 特別展「森村泰昌：なにものかへのレクイエムー戦場の頂上の芸術」
2010年10月23日(土)~2011年1月10日(月・祝)
- コレクション展 2010- II 「メモリー／メモリアル 65年目の夏に」
2010年7月19日(月・祝)~11月7日(日)
- コレクション展 2010- III 「肖像(ポートレート)：黙して語る」
2010年11月20日(土)~2011年2月24日(木)



金子司《CURTIDORE DE HONGOS (キノコラックルヒト)》2006年 ©Tsukasa Kaneko